

名張市

全19小中学校にGHP

計300教室 災対、省エネなど評価

名張市（亀井利克市長）は、市立小学校14校、中学校5校の全19校の普通教室と特別教室の一部の計約300教室にGHPを導入した。GHP室外機計139台（計2905馬力）を設置し、2月に全工事を完了。これまでのガス供給実績に基づき、19校のうち18校に名張近鉄ガス（本社・名張市、大黒賢宏社長）、LPガス地区の小学校1校にJAIがふるさとがガス供給する。

内訳はLPガスが8校（小学校6校、中学校2校）で50台、簡易ガスが3校（同2校、同1校）で21台、都市ガスが8校（同6校、同2校）で68台。工事は1年半がかりで実施し、一昨年8月に完了した5校（小学校1校、中学校4校）にパナ

設置した。

名張市は一

昨年夏の猛暑

を受け、教育

現場の熱中症

対策として、

公立小中学校

教室への冷房

設備の導入を

検討し、GHP

とEHPの

比較検証を重

ねるなか、消

費電力の削減

桔梗が丘中学校に設置したGHP



や電力デマンドのピークカットによるランニングコストの低減効果などからGHPが最適と判断し

また、名張近鉄ガスが日ごろから行政にガスの良さを訴求し、地道に続

けてきたPR活動も採用の後押しをした。学校に限らず、これまでもGHP提案に注力し、工場用燃転を中心に毎年平均400馬力の販売成果を上げていく。今後も経年が進む公民館の既存GHPの更新などを含め、積極的な力を注ぎ拡販する方針。